



## 聴き合いタイム



### 聴き合いタイムの考え方

対話しながら友だちの考えをきく(耳)

友だちの考えを取り入れる  
ポジティブに捉える(+)

# 聴心

友だちの考えを  
いつでも見ることが  
できる(目)

「ききたい!」という思いをもって友だちにきく(心)

### 聴き合いタイムの目的

- 児童同士が分かったことや考えたことを聴き合うことで、自分の考えを確かめることができ、自信をもつようになる。
- 課題解決への見通しを持ち、自分の間違いに気付いたり、自分なりに納得した考えを持ったりできるようにする。
- 自分で学習形態を選び、取り組むことができるような自己選択・自己調整力を身に付けさせる。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実  
誰一人取り残さない学びの保障

「わかった!」「やってみたい!」  
学びの主体性UP!

### ききたい

自分の考えに使えそうなヒントをきき出す。

お互いの考えや答えを比べながらどうしたらよいか一緒に考える。

### 聴き合いタイム

悩んでいる人にアドバイス・ヒントをあげる。

### 自信あり

### 自信なし もう少し

悩んでいる人にアドバイス・ヒントをあげる。

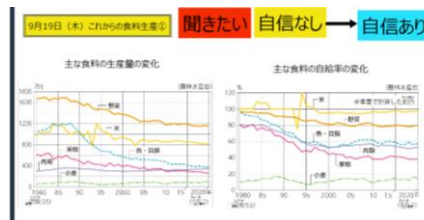
自信がないところを相談する。

本質を捉える授業を!  
させっぱなしにしない!

教師の役割とは・・・コーディネート!  
ヒントを出したり、個別指導したりする  
本質に外れないように軌道修正  
そのための「問い返し」→考えを引き出す・深める

### 意思表示カード

「聞きたい」「自信なし」「自信あり」の3つの意思表示カード使って、自分の考えをタブレット上に示すことで、聴き合いタイムを活発にする。  
「賛成」「反対」などのカードを作成して使用するなど、応用もできる。  
発表ノートに置いたカードは、聴き合いタイム中に更新していく。「聞きたい」→「自信あり」その際に、最初に置いたカードはそのままにして、更新した場合は重ねたり、矢印を使って示したりする。

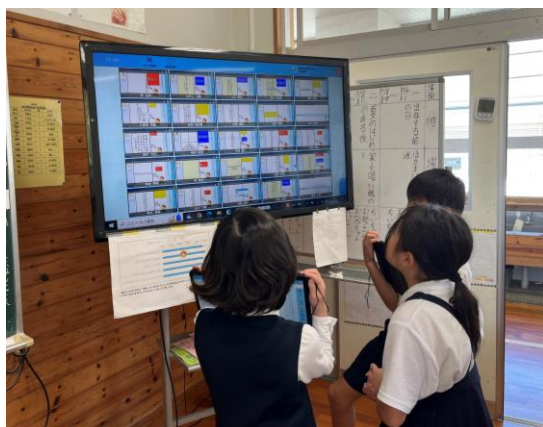
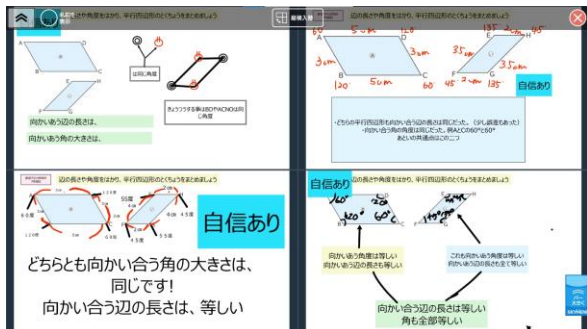




### ICTを活用した聴き合いタイムのやり方

## 友だちの考えを取り入れる「他者参照」

### ① スカイメニューの活用 「みんなの作品」「画面一覧」



### ② Teams内での「Excel」を活用

日付	内容	名前	文字数
2024/9/26	「たずねびと」初発の感想	[名前]	246
	わたしは、綾とお兄ちゃんは、駅前にはって不思議になりました。原爆供養塔納骨名簿には、遺族や知り合いがいるわけでもないのに同じ名前があっただけで平和記念公園や平和記念資料館にいったのか不思議になりました。特に原爆供養塔納骨名簿にのっていた同じ名前のアヤは、なぜ何十年も遺族や知り合いがわかえにこないと思うとわたしだったら、とてもお母さんやお父さん、友達、知り合いがわかえにこなかったら不安で不安でいいと思いません。これから、登場人物の気持ちのきっかけを正しくわくわく読み取ってみたいです。		
2024/10/2	友達の初発の感想を読んでみて	[名前]	162
	わたしは、ゆいさんの初発の感想を読んでみてわたしは、「登場人物の発言・主人公の心がうごいたきっかけになったことなどに着目して読んでいきたいです。」というこれからの <b>学び方がかいていたところ</b> がいいとおもいました。学び方・これから勉強をしながら学んでいきたいことをかくことで自分が学びたかったことがふりかえることができるからです。		
2024/10/4	出会ったものや登場人物について	[名前]	147
	私は、出会ったものや登場人物について思ったことがあります。綾は、場面一〜場面三は、原爆供養塔納骨名簿に同じ名前があった。とアヤのことについてわくわく調べていないけど、場面三〜場面八はアヤのことについてアヤのほかの登場人物、出会ったものを深く考えたり資料館や原爆ドームについて深く考えている。		

発表ノートに書いた自分の考えを「みんなの作品」を活用して公開することで、誰がどのような考えを書いているのかが見ることができる。個別に「〇〇さんの考えをくわしく見たい」となると、個人のタブレットに一覧が出る「みんなの作品」が必要になる。

子どもたちの発表ノートを教師側が「画面一覧」にして大型モニターに投影し、誰がどのような考え・意思表示をしているのかが見ることができる。各自の席から友だちのおおよその様子は確認できる。

Teams内にあるExcelデータを開き、全員で1枚のシートを活用する、あるいは1人1枚のシート(タブの活用)を用意して活用するという2パターンの活用方法がある。



### 聴き合いタイムの様子

